

令和2年度 西九州大学佐賀調理製菓専門学校 自己評価表・関係者評価表(調理師科)

●自己評価

●関係者評価

	評価項目	自己評価 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	課題	今後の改善策	特記事項	関係者評価 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	特記事項
教育 目標 理念	①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	・専門学校としての理念・学校目標は明確なものになっており、生徒への周知は行われているが、コロナ禍で保護者への周知はなされていない。 ・業界のニーズがよくわからない。	・理念、方針をHPに掲載する。 ・企業を呼んでニーズを知る。(企業説明会の実施)	・コロナ禍での入学式、卒業式への保護者参加ができなかったため、本校の教育目標・理念等を説明する場、手立てを真剣に検討する時期に来ている。	4	業界のニーズは司厨士協会と連携をとって現状を把握。
	②社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	4					
	③学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3					
	④各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4					
学校 運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	・人員不足 ・学園全体での協力体制 ・ネットによる情報公開の不足 ・教職員の勤務状態の改善は進められているが、まだ十分ではない。 ・学校全体の運営を理解できていない。	・コロナ対策、校務の一部でも可能な非常勤嘱託の増加。 ・常に情報共有を行い、全体的な視野を養う機会を増やす。 ・振休等の取得義務化。	・最低でも毎月1回は教職員会議を開催し、情報の共有を図る。	4	教職の人数は定数を満たしているが、全体人員不足のため仕事に特定職員に集中していない。
	②事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4					
	③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4					
	④人事、給与に関する制度は整備されているか	4					
	⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4					
	⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4					
	⑦教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4					
	⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4					
教育 活動	①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	・職員の能力開発のための研修に参加する時間が確保できない。 ・保護者への周知・連絡等が実施できていない。 ・ラ・サンテの活用ができていない。 ・パティシエ科資格取得(受験)辞退者の増加 ・保護者に実習等の集大成を見せる場がない。 ・保護者への周知が少ない。	・研修会の参加を促す(教員は県の補助金を使用) ・研修への参加(主に介護食、カフェクリエーター)など本校で行う講座を行うために必要な資格を取得。 ・成績、学校生活等を文書にして保護者へ連絡。 ・菓子販売、レストラン実習を行う。 ・ラ・サンテ活用時に案内を出す。 ・受験前に担任から卒業生への呼びかけ、指導を推進。	・コロナ対応で研修機会、保護者への周知などができなかった。	3	・校長はじめ教職員が教育の充実に取り組んできた成果が昼間生徒増につながっている。 ・コロナ禍での教育活動は大変だと思うが、学校を休校してのオンライン授業では実習科目はできないのでしっかり補充授業をやしてほしい。 ・教育理念と教育目標の周知は大事である。
	②目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として各学科の教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4					
	③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4					
	④関連分野の企業・関係施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの教育方法の工夫・見直し等が行われているか	3					
	⑤関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	3					
	⑥授業評価の実施・評価体制はあるか	4					
	⑦職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	2					
	⑧成績評価、単位認定の基準は明確になっているか	4					
	⑨資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4					
	⑩人事育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できるか	3					
	⑪関連分野における業界等との連携に於いて優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3					
	⑫関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3					
	⑬職員の能力開発のための研修等が行われているか	2					
学修 成果	①就職率の向上が図られているか	4	・入学直後からの就活開始ができていない。 ・就職に対する意欲低下への対応。	・ウィズコロナ対応で効果的なWeb面接練習を工夫する。(機器の導入) ・6月に企業説明会を実施する。	・学生の満足度調査を12月に行い、その結果を1・2月の授業に反映するようにした。	4	生徒の満足度調査により生徒指導が図られている。
	②資格(免許)取得率の向上が図られているか	4					
	③退学率の低減が図られているか	4					
	④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3					
	⑤卒業時に学校に対する満足度調査を行い、その結果を次年度の教育活動に活かしているか	4					
学生 支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	・心理面からくる不安定な生徒への対応。 ・ヤングハローワークの巡回相談の利用者が少ない。 ・スクールカウンセラーの利用が少ない。特定の学生対応になっている。 ・施設の老朽化	・学生の体調不良時に保健室で休む時のチェック表 ・スクールカウンセラーの面接を4・5月に全員受けさせる。 ・実習後の振り返りで現実理想の中でどう自分のモチベーションを保っていくか考えさせ、それに対するフォローを職員が意識していく。	・年間通してのスクールカウンセラーの相談体制は非常に効果があったので、次年度も依頼する。	3	生徒ファーストで丁寧な対応が望まれる。
	②生徒相談に関する体制は整備されているか	4					
	③生徒の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3					
	④生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	3					
	⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	3					
	⑥生徒の生活環境への支援は行われているか	3					
	⑦保護者と適切に連携しているか	3					
	⑧卒業生への支援体制はあるか	3					
	⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2					
	⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3					
教育 環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	・トイレ、パウダールームの設備が欲しい。 ・学外実習に対する生徒の意識不足。	・生徒にとって必要な改修等から優先して実施。 ・実習後の振り返りで現実理想の中でどう自分のモチベーションを保っていくか考えさせ、それに対するフォローを職員が意識していく。	・本校で対応できない面は、校外での実習も視野に入れて検討する。	3	施設・設備が耐用年数を超えているものは交換が必要。
	②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2					
	③防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3					
学生 募集	①学生募集活動は、適正に行われているか	3	・夜間生の募集(ダブルスクール生、社会人)の激減。 ・対面型のオープンキャンパスができないときの対応。	・ダブルスクール生に関しては大学と協議していく。 ・対面、オンラインの両方を効果的に運用できる工夫を行う。 ・在校生がもっと主体となる企画を入れる。	・HPから対面、オンラインの受付、運用ができるシステムを運用。 ・調理師科(昼間)32名(夜間)13名 ・パティシエ科25名	3	教職員の限られた人数での活動が制限されている。
	②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3					
	③入学選考は、適正に行われているか	3					
	④学納金は妥当なものとなっているか	4					
財務	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	・中長期計画のうちコロナ禍でできないこととできることを選択。	・専門学校独自で黒字を目指すためには、最終的には生徒数増加がみられる対策を見出す。	・菓子の販売(ラ・サンテ)の促進。 ・SNS等を駆使した受験希望者の掘り起こしを目指す。	4	生徒増と職員の人件費削減により効果が出ている。
	②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4					
	③財務について会計監査が適正に行われているか	4					
	④財務情報公開の体制整備はできているか	4					
法令 等の 遵守	①関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	・自己評価で出た課題の解消に取り組めるシステムの構築不足。 ・自己評価での課題の解決ができていない。	・会議や掲示物等を通じて、全ての職員のコンプライアンスに対する啓発を断続的に図る。 ・会議・研修を通して全職員で取り組み解決する。	・職員会議、打合等の会合で情報共有するように努める。	4	
	②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4					
	③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4					
	④自己評価結果を公開しているか	4					
地域 社会 ・ 貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	・校友会が(学生)がもっと主体的に動くことが望まれる。 ・毎年西大島地区のお年寄りに対して両科ともボランティアを行っているが、コロナでできなかったが、生徒の意識向上に向けて、話し合いの機会を作る必要がある。	・ボランティア活動に対する生徒の意識向上に向けて、西大島地区以外にも活動の輪を広げる。 ・近隣以外のボランティアへの参加。	・クリスマスケーキを西大島地区のお年寄りや鹿島市の就労支援施設「そら」へプレゼントをして生徒たちの気持ちを伝えることができた。	4	地域に根ざした取り組みが行われている。
	②生徒のボランティア活動を奨励・支援しているか	4					
	③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3					